

onlineHDF 開始に伴いリクセル治療を中断したケースの臨床検討

(医) 明洋会 柴垣医院自由が丘 臨床工学部 同診療部

○遊佐拓史 (1st 2nd) 木幡早由利 木村拓実 有賀三佳 田村みどり 野沢由紀夫
市川 匠 柴垣圭吾

【目的】

リクセル+HDF による治療とオンライン HDF による治療を比較し、その臨床的差異を調査する。

【方法】

HDF+リクセル治療からオンライン HDF 治療へ変更になった患者数名に対し、変更前、変更後 1 か月、3 か月、6 か月時点での、血液検査及び身体所見、VAS を用いた QOL の調査などを行い比較した。

【結果】

$\beta 2$ 除去率は上昇したものの、血液検査上では大きな変化は見られなかった。身体所見も大きく変わったところはなかったが、透析中のバイタルの安定、治療後の疲労感の軽減などの項目で、オンライン HDF 変更後改善が見られた。但し、疼痛などの項目では、リクセル使用時に効果を実感しているとの結果も見られた。

【考察】

どちらもアミロイド症に対する効果を謳っているが、その方向性に差異があるのではないかと一定の知見が得られた。しかし、置換液量など透析条件の設定を見直す必要性、より長期にわたる観察の必要性を認めた。